

顔色
CARE

元気な顔になるマッサージ&メイク術

がん研有明病院 婦人科
副部長

宇津木 久仁子 先生

フェイシャルセラピスト/歯学博士/
公益社団法人 顔と心と体研究会 理事長/
REIKO KAZKI主宰

かづき れいこ 先生



宇津木先生からのアドバイス! 化粧品の選び方と日焼け止めの塗り方

抗がん剤治療中の化粧品の選び方



化粧品(洗顔料、化粧水、乳液またはクリーム、美容液、ファンデーション、チーク、アイシャドー、保湿クリーム)の選び方をご紹介します。

ポイント① これまでの化粧品で肌に刺激を感じますか?

抗がん剤治療中は、肌が敏感になったり、薬によっては湿疹や乾燥、黒ずみ、シミが出る場合があります。しかし、化粧品の成分ががんに悪影響を及ぼすことはないので、今使っている化粧品を買い替える必要はありません。

もし、化粧品がしみたり、肌が赤くなったり刺激を感じる場合は、敏感肌用や低刺激の化粧品に切り替えると良いでしょう。

ポイント② 肌に湿疹などの症状が出ていますか?

湿疹が出ている時は、医療従事者に相談してください。

化粧品についても、相談すると良いでしょう。

ポイント③ ニオイに敏感になっていませんか?

抗がん剤の治療中はニオイに敏感になります。ニオイの少ない化粧品を選びましょう。